



子育て通信 カナリヤ

時津町子育て支援センター『こぼとの家』

長崎県西彼杵郡時津町西時津郷 1000-10

支援センター TEL095-882-7455

保育園 TEL095-882-4559

FAX095-882-4901

ホームページ

<https://www.togitsukobato.jp>

「水遊び」 ～暑い夏、水や泥で遊びました～



『彩月～いろどりづき～』

時津こぼと保育園

園長 嘉村 望

— 先に 染まるね

とは

誰も 声に出しては 言いませんけれど

森には

ある幅の中で

先だったり

後だったりする

穏やかさが あふれています

そのまんまで いいですよ

そのまんまが 素敵です

— 先に ゆくね

という

声を聴くとき

その別れが

惜しくてなりませんけれど

今日も

その確かさの中に

誰もが いるのです

そのまんまで いいですよ

そのまんまが 素敵です

「心をとめて 森を歩く」

～文：河邊貴子～

いろいろな月の名前があり、9月の別名として彩月（いろどりづき）という名前があります。木の葉が色づく月という意味からきているのですが、紅葉まではもう少し先になりますが、不思議と一斉に色づくのではなく、同じ木々でも少しずつところどころ色づいていきます。

子どもたちの育ちも一斉に育つのではなく、いろいろなところが少しずつ成長していきます。同じ年齢、同じ月齢であっても、育っていく速度も違っていています。得意なこと不得意なことそれぞれ違っています。好きなこと、興味があることや集中力も違っていているのです。

時として、他の人が羨ましいと思ったり、上手いかわなくて取り残された気持ちになることもあるかもしれません。

しかし、人を羨むより、自分ができることとできないことなどの能力や個性、自分らしきなどのありのままの自分を受け入れることで、自分を大切にすることができるのではないのでしょうか。

自分を信頼できると、同じように他者を信頼することができます。

心穏やかにまわりの人にも自分自身にも優しい気持ちで過ごすことができますように…。

《秋の行事》

9月はまだまだ残暑が厳しい頃ではありますが、少しずつ過ごしやすくなっていくでしょう。十五夜やお彼岸など秋を感じる行事もありますので、お子さまと一緒に小さな秋を見つけてみてみませんか…。

防災の日（9月1日）

大正12年（1923年）に発生した関東大震災にちなんで昭和35年（1960年）に制定された記念日です。台風の襲来も多い時期と言う事もあり「災害への備えを怠らないように」という戒めの意味もあるそうですよ。ご家庭の非常持ち出し袋や保存食を確認したり、災害に遭った時はどうするのかをご家族で話し合うといいですね。

ママバッグにいつも必要なものを入れる習慣を！

子どもとお出かけ時に使用するママバッグには必要なものをいつも入れておけば防災対策にもなります。おむつ、ミルク、着替え、ビニール袋などがあれば安心です。使用したら補充を忘れずに！

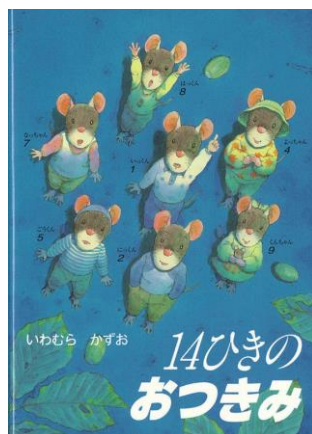
お気に入りのおもちゃがあると子どもは不安を感じても気持ちを和らげることができるかもしれませんね！



十五夜（9月10日）

十五夜は、中国の唐の時代から行われていた風習が日本に伝わったもので、平安時代には美しい月を愛でるという文化として広まっていきました。その後、月の満ち欠けなどを見て農耕を行っていた農民たちが、五穀豊穡の感謝のためお供え物をするようになり、今のお月見という風習が作られたともいわれています。

絵本を読みながら十五夜を感じて見
てはいかがでしょうか…。



「14ひきのおつきみ」
作・絵：いわむらかずお



「パパ、お月さまとって！」
作：エリック・カール
訳：もり ひさし



「おつきさまこんばんは」
著：林 明子



「おつきみうさぎ」
作：中川ひろたか
絵：村上 康成



お供え物といえは「お月見団子」を思い浮かべる方も多いのではないのでしょうか…。江戸時代後期になり五穀豊穡の感謝を込める意味で、収穫したお米で作ったお団子をお供えされるようになり、保存面や形が月を表しているなどの理由からお団子が定着していったとの説もあります。また、丸いかたちは縁起がいいという事で、お団子を食べることによって健康や幸せになれるとも考えられていたようです。

お子さまと一緒につくってみませんか。

「さつまいものおつきみだんご」

〈材料〉(2~3人分)

さつまいも	300g
砂糖	20g
無塩バター	20g
牛乳	80ml
卵黄	0.5個



〈作り方〉

- ① さつまいもの皮をむき 1.5 cmに切り水にさらす。
- ② 自らさつまいもを茹でる。
- ③ 暖かいうちに裏ごしする。
- ④ 鍋に戻して、さとう、バター、牛乳を入れて中火にかけながら水分をとばす。(しっかり水分を飛ばすのがコツ)
- ⑤ 卵黄を加える。
- ⑥ お団子サイズに丸める。
- ⑦ 200℃で 10分焼く
- ⑧ お月見団子のように盛り付けて完成!

秋分の日 (9月23日)

太陽が真東から昇って真西へ沈み、昼と夜の長さが同じになるといわれている日です。昭和23年(1948年)に「祖先をうやまい、亡くなった人をしのぶ」ことを趣旨として制定された祝日です。

秋分の日には「おはぎ」を食べる習慣がありますね。おはぎには小豆が使われています。小豆の赤い色には災難から身を守る効果があるといわれています。

「ぼたもち」と「おはぎ」のちがい

「ぼたもち」・・・こしあん

「おはぎ」・・・つぶあん



タイル・ディンプルアート教室開催決定!

今回は、ハロウィンをモチーフとしたタイルのリースとディンプルアートのフレームの2種を製作予定です。

日時：令和4年9月22日(木) 10:00~

講師：下釜陽子先生 (palette 講師)

材料費：1400円

場所：学童こぼとくらぶ

(託児は支援センターで行います)



(イメージ画)

ディンプルアートとは…車のフロントガラスの樹脂からリサイクルして生まれた不思議な絵の具で、スタンドグラス調のアートができます。